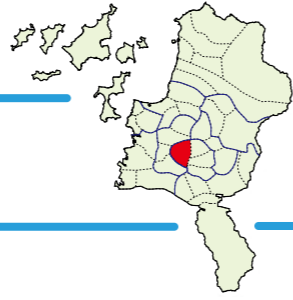


ばん ちょう
番町地区

人口: 3,895人(高齢化率30.0%)
世帯数: 2,262世帯

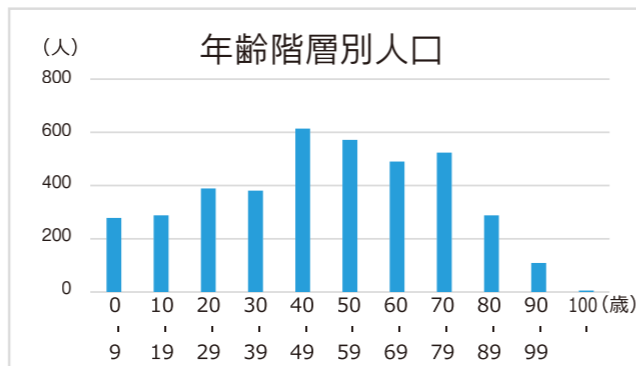


【地区の特色】

松山市の中心に位置し、官公庁・金融機関等のオフィスビルが建ち並び、大街道・銀天街・まつちかタウンのショッピングゾーンは連日買い物客でにぎわっている。一方、ドーナツ化現象のため人口は流出傾向にあるが、地域住民の強力な結束を基に、文化・スポーツ活動等が活発に行われている。



松山城と官公庁などのオフィスビル



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・街中なので夜も明るい ・交通機関の利便性がよい ・医療機関が多い ・柳井町町内会では近所付き合いが盛ん ・ゴミ出しなど町内ルールが守られている
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーが少ない ・近所付き合いが希薄
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者世帯の増加 ・スーパーが少なく、高齢者等の買い物が困難 ・マンションが増え、オートロックマンション等により地域の情報周知が困難 ・交通量が多く、危険 ・集いの場が少ない ・近所付き合いが希薄

番町地区社会福祉協議会

構成団体	地区民協・公民館・共同募金会・小学校・PTA
主な取り組み	活動内容
独居高齢者の見守り	毎年12月に民生委員が見守りをしている独居高齢者へ靴下を配布し、見守り活動を行っています。
高齢者への記念品の配布	地区の80歳以上の高齢者を対象に記念品を配布しています。
小学生と高齢者の交流	小学1年生と高齢者が昔の遊びを通して交流を深めています。

お茶会(2月頃)

地域の高齢者、保育園児とその保護者が一堂に会しお茶会を実施しています。年長児が、いつも見守ってくれる地域の方や保護者の方に日頃学んだお作法を披露し、成長した姿を見てもらいます。世代間の交流とともに、子どもたちが地域の高齢者を思いやる心を育てています。



<地区社協が目指すもの>

松山市の中心地に位置する地区のため、諸々の活動に便利な点を活かして近隣地区とも協力し、子どもから高齢者まで住民一人ひとりが社会福祉に参加し、地域内の助け合いの気持ちを育てていける地区を目指します。

地区の状況	■地区民協	11名 2名	■町内会・自治会・区長会等	36団体
	民生委員		■高齢クラブ	1クラブ
	主任児童委員		■子ども会	3団体
	■まち協の設立	—	■自主防災組織	34組織

官公庁や医療機関が立ち並ぶオフィス街であり、交通の利便性がよく、保育園・小学校においても市内全域から園児や児童を受け入れている地区です。そのため、園児とのお茶会や小学生との昔あそびを通して世代間の交流を図っています。こうした活動は核家族化の進む中で、子どもたちの「学びの場」となり、子どもたちの福祉教育の一環となっているでしょう。このような市街地ならではの福祉活動をより発展させることで、地域内の相互交流及び福祉教育の新たな展開が期待できる地域だといえるでしょう。

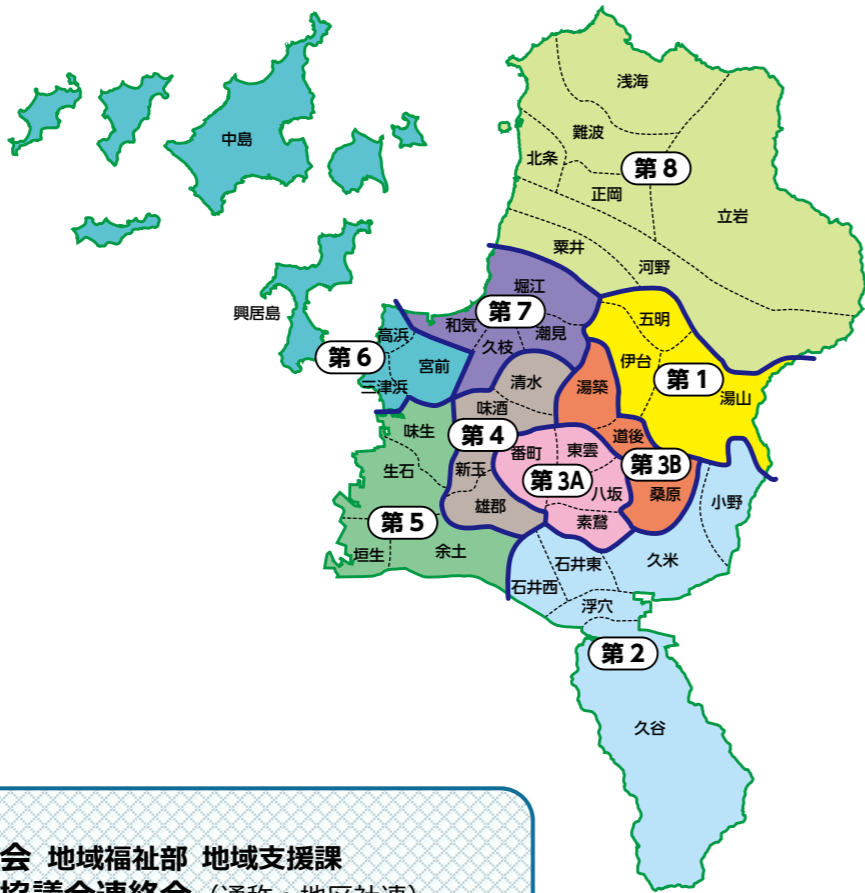


掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます！

『地域カルテ』とは

日常生活での不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域が今どのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録(カルテ)を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区	第6	宮前地区	第8	浅海地区
	伊台地区		三津浜地区		立岩地区
	湯山地区		高浜地区		難波地区
第2	久米地区	第7	興居島地区	第3A	正岡地区
	浮穴地区		中島地区		北条地区
	小野地区		潮見地区		河野地区
	石井東地区		久枝地区		粟井地区
	石井西地区		和気地区		
久谷地区	堀江地区				
第3A	番町地区	第3B	道後地区	第4	雄郡地区
	八坂地区		湯築地区		新玉地区
	東雲地区		桑原地区		清水地区
素鷲地区		味酒地区	第5	余土地地区	
第3B	道後地区	湯築地区		垣生地区	
	湯築地区	桑原地区		生石地区	
	桑原地区		味生地区		



発行日 令和6年4月
 発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課
 松山市地区社会福祉協議会連絡会 (通称: 地区社連)
 〒790-0808 松山市若草町8番地2
 TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408
 Webアドレス <https://www.matsuyama-wel.jp/>
 作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

<『地域カルテ』の見方>

①地区の概要

- ・人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の令和5年4月1日現在のデータを記載しています。
- ・地区の特色は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

②地域住民からみた地域の状況

- ・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

③地区社協の概要と取り組み

- ・令和5年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

④地区内関係団体データ

■地区民協	令和5年4月1日現在の定数
■まち協の設立	令和5年9月1日現在の設置状況
■町内会等	令和5年度町内会等状況調査(基準日:令和5年6月1日)
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数(令和5年7月1日現在)
■子ども会	令和5年度松山市子ども会連合会加入数(令和5年5月1日現在)
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況(令和5年4月1日現在)

⑤地域福祉推進のポイント

- ・聖カタリナ大学 教授 村岡則子氏をはじめとする学識経験者のみなさまから地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。
- 《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》教授 釜野鉄平氏、助教 雑賀正彦氏、助教 鬼頭裕美氏